

レーザーカッター

【エピログレーザー社 Epilog Mini 24】

【設備の特徴】

- ・市販のグラフィックソフト、CADソフトのデータを読み込み、プラスチックやフィルムに対して、X-Yプロッター方式により2次元的にレーザー加工（切断や彫刻）を行う装置です。
- ・刃物や掘削用具等を用いる加工機械で必要となる工具の交換や、金型・型紙なども不要であり、パソコンに接続したプリンターにより印刷する感覚で手軽に加工可能です。

【設備の仕様概要、技術内容】

■主な特長

- ・素早い加速と減速を実現する高精度サーボモーター採用
- ・ベクター切断テーブルにより、切断中の素材裏側の焦げを防止
- ・バキュームテーブルにより、シート状材料の浮上がりを防止
- ・リニア・エンコーダーによる位置精度の向上
- ・ステンレス製ベアリングの採用で長寿命、高剛性化



■仕様概要

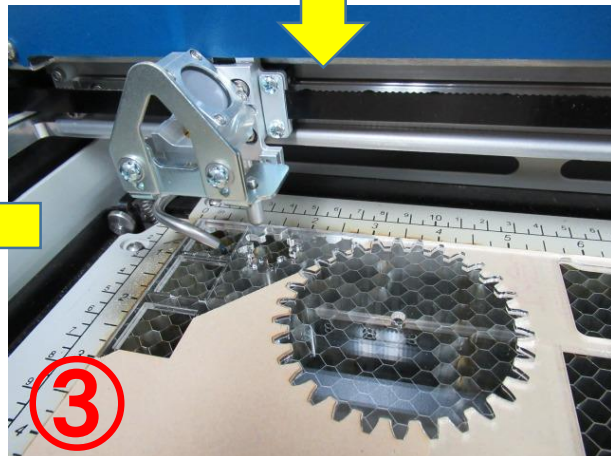
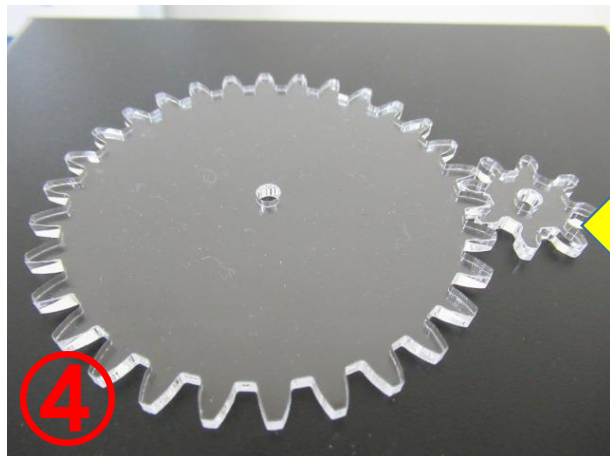
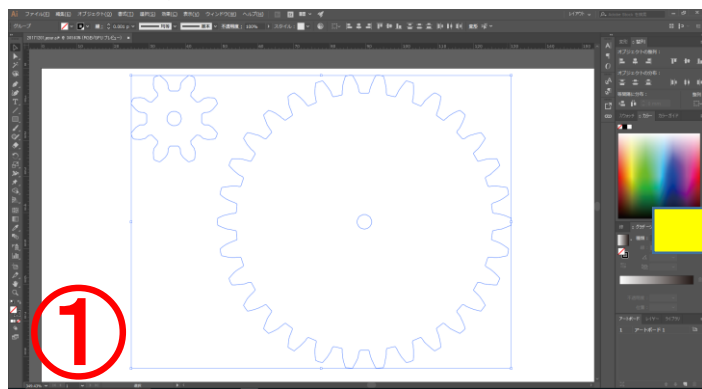
加工範囲	610 x 305 mm
最大材料厚	140mm
テーブルを取り外した場合の最大材料厚	203 mmで、加工範囲は597 x 298 mm
レーザーソース	デジタル制御空冷式 CO ₂ レーザー管
レーザーのワット数	30ワット
内蔵メモリ容量	64MB
加工モード	ラスターモード／ベクターモード／ラスター・ベクターモード
解像度	75 dpi から 1200 dpi までユーザーが制御可能
切断可能な素材	プラスチック類、木材、皮、布、ゴム、紙等
彫刻可能な素材	(切断可能な素材に加え)ガラス、セラミック、大理石、塗装金属等

■効果が期待される利用分野

- ・筐体、ケースの製作
- ・自動車のシートや内装パーツの製作
- ・アクセサリー、工芸品の製作
- ・サイン&ディスプレイの製作

【応用事例】

■加工方法



- ①グラフィックソフト (Illustrator) に平面データや画像を取り込みます
- ②素材に応じてスピードやパワーを変更します
- ③レーザーカッターにデータを送信後加工を開始します
- ④完成 (平歯車)
- ⑤平面を組み合わせることで立体的な物も製作可能です (電子回路基板用ケース)

【設備の利用について】

詳細については当センターにご相談ください。

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

技術イノベーション部 企画・事業推進班 熊谷健

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <http://www.rdc.pref.akita.jp/>